# TB2C2 設定変更編

Version 1.00 2022.2.22 HOLLY&Co.,Ltd.



このたびは、TB2C2をお買い求め頂きありがとうございます。 計測機本体設定変更の方法を説明致します。

# 1. 前提

設定の変更には、以下の道具と情報とスキルが必要になります。

- 有線LANでsshでTB2C2に接続できるPC
- TB2C2のIPアドレス(ボタンCで表示させると分かる)
- ログインとパスワードは本体に同梱されています
- エディタでファイルを直接書き換えてもらいますので、ある程度のコマンド を知っておく必要があります。(vim,nano,emacs)

## 2. 変更作業前に実施すること

TB2C2のシステムは電源を突然OFFしても良いようにシステムが読み込み専用の ファイルとして起動するように作られています。

したがって、その状態でファイルを書き換え・変更しても再起動後には変更前に 戻ってしまいます。

そのため、一時的に読み込み専用の機能を抑止する必要があります。



その方法を紹介します。

なお、ログインのための情報は本体 に同梱されています。

スクリーンショット中のIPアドレス は当社環境下のものですので、各自 の環境に合わせて読み直してくださ い。

次ページでは、この読み込み専用機 能の抑止と設定の方法を記します。 左のフロー図でもわかるように読み 込み専用の解除・設定はどのような 設定変更にも必須となります。

設定作業の流れ

2.1. 読み込み専用の解除・設定

2.1.1. 読み込み専用の解除

PCからsshでログインします。



正常にログインが完了すると上のような画面になります。ここで、 [ remember: your system is in virtual read only mode ]

と表示されれば、読み込み専用のモードであることを意味しています。



コマンド sudo armbian-config と入力します。



Fl ▼ tb2@mki-tb2c2-01: ~ Q ≡ _ □ 😣										
tb2@192.168.31.212's password:										
Welcome to Armbian 21.08.8 Focal with Linux 5.10.60-sunxi										
No end-user support: built from trunk										
System load: 2% Up time: 5 min Memory usage: 17% of 491M IP: 192.168.31.212 CPU temp: 36°C Usage of /: 1% of 246M										
[ remember: your system is in virtual read only mode ]										
Last login: Mon Feb 14 16:29:51 2022 from 192.168.31.188 To run a command as administrator (user "root"), use "sudo <command/> ". See "man sudo_root" for details.										
tb2@mki-tb2c2-01:~\$ sudo armbi [sudo] password for tb2: Warning: Configuration cannot n. Press CTRL C to stop o	an-config work properly w r any key to ig	ithout a wor nore and con	king intern tinue.	et co	nnec <sup>.</sup>	tio				

tb2のパスワードを答えます。

インターネットに接続されてい ない場合には左のような警告が 表示されますが、無視して Enterキーを押してください。

	tb2@mki-tb2c2-01:~ Q			×
Configuration util	lty, Armbian 21.08.8 user-built, 192.168.31	212		
	armbian-config		-	
Configure <mark>Ubuntu</mark>	focal based Armbian for the Orange Pi One			
SoC runs between	480 and 1008 MHz using ondemand governor.			
Support: https://	forum.armbian.com			
System	System and security settings	nt		
Person	al Timezone, language, hostname			
Softwa	re System and 3rd party software install			
Негр	Documentation, support, sources			
	< <u>)</u> > < Exit >		-	

少しGUIっぽい設定画面が現れ ます。

一番上のSystemを選択してOK にカーソルが有ることを確認し てEnterキーを押します。

Disable Armbian kernel upgradesNightlySwitch to nightly automated buildsLowlevelStop low-level messages on consoleBootenvEdit boot environmentCPUSet CPU speed and governorAvahiAnnounce system in the networkHardwareToggle hardware configuration: UART, IZC, etc.OtherSwitch to other kernelsSSHReconfigure SSH daemonFirmwareRun apt update & apt upgradeZSHInstall ZSH with plugins and tnuxDefaultInstall desktop with browser and extrasOverlayrootDisable virtual read-only root filesystemDtcView/Edit/Compile device tree WIP		System settings
	Figera Nightly Lowlevel Bootenv CPU Avahi Hardware Other SSH Firmware ZSH Default Overlayroot Dtc	Disable Armbian kernel upgrades Switch to nightly automated builds Stop low-level messages on console Edit boot environment Set CPU speed and governor Announce system in the network Toggle hardware configuration: UART, I2C, etc. Switch to other kernels Reconfigure SSH daemon Run apt update & apt upgrade Install ZSH with plugins and tmux Install desktop with browser and extras Disable virtual read-only root filesystem View/Edit/Compile device tree WIP

Overlayrootを選択します。

かります。セッションが切れます。



サブメニューが沢山表示されま すが、カーソルキーを使って下 にカーソルを持っていって



既にRead-onlyだよ。それを 抑止するよ。というメッセー ジが表示されるので、 Disabled を選択します。 自動的に再起動(reboot)がか



1~2分後に 改めてログインします。

remember: your system is in virtual read only modeの文字が無くなっています。

#### 2.1.2. 読み込み専用へ設定

解除同様にログインして sudo armbian-config コマンドを入力します。





Systemメニューから Overlayrootを選択します。



Enable virtual...と表示されたら

#### reboot

をクリックします。 再起動すると、読み込み専用モー ドになります。

# 3. IPアドレスの確認・変更

もっとも変更頻度が高いのがIPアドレスでしょう。

初期設定ではDHCPでアドレスおよびネットワーク環境を取得する設定になっています。



ip a : インタフェース毎に IPアドレスを確認出来ま す。 ip r : ルーティング情報を

確認できます。

## 3.1. DHCPの設定を静的(Static)設定に変更する

	tb2@mki-tb2c2-01: ~	Q =		×
Configuration utility	r, Armbian 21.08.8 user-built, 192	.168.31.212		
	armbian-config		-	]
Configure Ubuntu foo	cal based Armbian for the Orange P	i One		
SoC runs between 480	) and 1008 MHz using ondemand gove	rnor.		
Support: https://for	rum.armbian.com			
System Natwork Personal Software Help	System and security settings Mired, wireless, Bluetooth, acce Timezone, language, hostname System and 3rd party software in Documentation, support, sources C	<mark>ss point</mark> stall	_	

前述同様に、

Armbian-configを起動し ます。

2行目のNetworkを選択し ます。



1行目のIPアドレスを選択します。

Staticを選択します。 (DHCPに戻すときにはDHCPを選択します。)





Staticを選択すると左の表示に変わ ります。IPアドレスをはじめ関連 事項を設定してください。

OKをクリックすると、IPアドレ スが瞬時に変わるため、応答がな くなります。ハングアップしたよ うに感じられますが、一度セッ ションを終了して改めて設定した

新しいIPアドレスでログインしてください。

念為、新しいセッションで reboot コマンドを入力して再起動させて、IPアドレスの設定を確認してください。

変更が完了したら、[2.1.2. 読み込み専用へ設定] を実施して新しいIPアドレスで 運用を開始します。 3.2. DHCPに変更する

[3. 1. DHCPの設定を静的(Static)設定に変更する] 同様に進めて、 armbian-config の Networkメニュー  $\Rightarrow$  IP  $\Rightarrow$  DHCP と設定します。 この際も

# 4. UECS設定を変更する

本装置はUECSのCCMを送信します。その際に重要な情報となる ROOM,REGION,ORDERおよびCCM名などの設定をすることができます。 なお、この変更はファイルを直接更新するため、エディタを使用するスキルが必要 になります。(vim,nano,emacsなど)

前述の読み込み専用の抑止を行い変更可能な状態にしておきます。

Ē				ļ	tb2@mk	i-tb2c2-0	1: ~	Q		8
tb2@	mki	tb2c2-01:~\$	sudo <mark>v</mark> i	/etc/	uecs/c	onfig.i	ni			

\$ sudo vi /etc/uecs/config.ini と入力します。 編集対象のファイルは /etc/uecs/config.ini

です。



エディタでファイルを開くと上記のような内容が見られます。

WD3(ECセンサ)が接続される場合には、

wd3present = True

となっています。WD3が存在しない状態でTrueに設定すると動作が不安定になり ます。

room, region, orderを適宜変更してファイルを書き戻します。

その後、tb2c2のプログラムの再起動を下記のように行います。

\$ sudo systemctl restart tb2c2

\$ sudo systemctl status tb2c2 ←動作状態を見ることができる。



正常に動作してい るようでしたら、 [2.1.2.読み込 み専用へ設定]を 実施して新しい設 定で運用を再開し ます。

ホーリー・アンド・カンパニー株式会社

₹810-0073

福岡市中央区舞鶴3-6-23-301

https://www.holly-linux.com/products/tb2c2/

